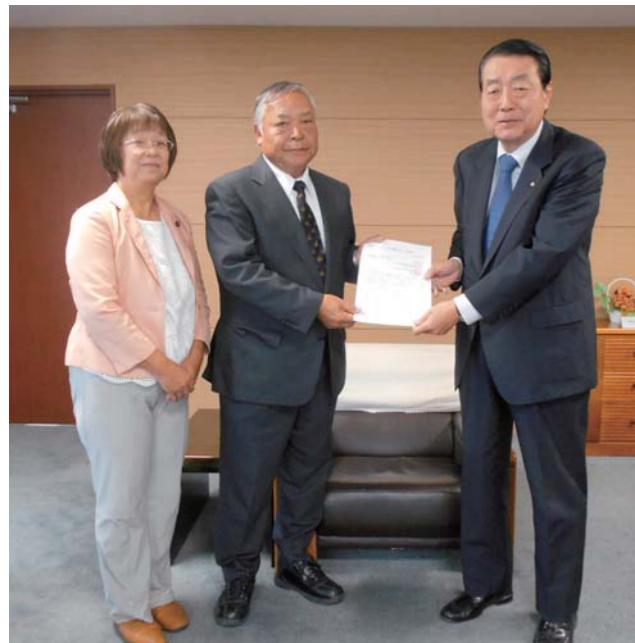




2020
新春号

編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町2087 tel 25-4854/fax 24-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

切実な市民要望実現へ 2020年度予算要望



五十嵐市長に要望書を手渡す議員団

日本共産党市議団は10月25日、五十嵐市長に来年度の予算要望書を提出しました。市長ほか吉田副市長、財政部長などが出席し、要望書を受けとりました。

- 台風19号における避難を教訓に避難対応の見直し。
- 雨水排水対策の強化。
- 運転免許証を返納しても安心して暮らせる交

五十嵐市長からは「台風19号を検討する」「失業や病気などで税金を払えない人は、事情をつかんで対応するよう指示している」と要望に対する考え方述べられ、予算編成の参考になると回答がありました。

老人いこいの家 廃止から継続へ

議会論戦と住民の成果

廃止を12月議会に提案予定だった、赤堀の老人いこいの家は、来年度も継続することが報告されました。

「高齢者の居場所つくりのボランティアを呼び掛けながら、自ら居場所を廃止するなど問題」と党議員団は議会で「継続を」と取り組み、市政を動かし中止させました。

5つある入浴施設を2つに減らす高齢者いじめの計画は、市民の声でストップでき



来年度も継続する老人いこいの家

水道料10%値上げに異議あり

総合戦略の人口予測無視

将来人口を市の計画より5600人も少なくし、赤字幅を大きく見せる姑息な計算です。節水意識の向上で水需要は10年間で6%減っていると言いますが、平成28・29年度は減るどころか連続して増えています。

市長は「厳しい数値を採用した」と答弁し、水量減少を水増したことを認めました。

12億の損失を水道料で

市はバブルの時期に、市役所を上回る広さの水道庁舎用地を購入。平成24年に半分を清明高校のグラウンドとして、県に売却しました。差額や金利負担で12億8千万円もの損失が生まれ、水道の利益で負担しました。

こうした無駄遣いをしなければ、老朽化する前に施設を更新するお金はあつたはず。これで赤字になるから値上げでは、市民の納得は得られません。

水需要の減少と老朽設備の改修を理由に、水道料の10%値上げが提案されました。

2020年今年も頑張ります



11.2 県民アクション集会



5.1 伊勢崎佐波メーデーに参加



7.14 国民平和大行進(伊勢崎→桐生)



北島 元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44

議会エピソード 17

消費税増税の影響緩和と景気対策として、非課税世帯に2万円で2万5千円の商品券が販売される。郵送された申請書を返送すると購入券が届く。高齢世帯で内容が理解できないなど、締め切りまでに申し込みは対象の32%だけ。国は締め切り延長を市町村に要請し、多くの自治体が延長を決めた。伊勢崎市は問い合わせに「締め切りました」という冷たい回答。

「全国で多くの自治体が延長している」と、議会の質問通告を行うと、翌日市ホームページが「担当課にご相談ください」との文章になり、「1月31日までに届いた申請は対応します」という議会答弁に変わった。

5,000円分プレミアムをもらったところで、上がった消費税の痛みには変えられないが、その5,000円すら届ける努力を惜しむ伊勢崎市。市民の暮らしに寄り添う市政のために、しっかり発言します。(K)